

第93回植物防疫研修会を開催

支援事業部

日本植物防疫協会は、2019年10月7日～11日の5日間、第93回植物防疫研修会を開講し、全国から64名が受講しました。

本研修会は、植物防疫及び病害虫・雑草等防除に関する正しい知識を備えた指導者を養成するため、1974年から開講しており修了者は5900名を超えていました。

2018年度からは、より質の高い研修となるよう研修カリキュラムの見直しを行い、新たに策定した研修要綱に基づき植物防疫の幅広い内容を系統立って理解していくだけるように構成しています。



【開講の挨拶をする早川理事長】

開講にあたり早川理事長より、本研修会の位置づけや特徴、受講の意義が説明され、改正された農薬取締法が掲載されている「農薬概説」を参考に、研修で得られた知識や経験を今後の仕事に生かしていただきたいと挨拶しました。

研修内容は、植物防疫法や農薬取締法など農薬を扱う上で知っておかなければならぬ法律やその内容、農薬の安全性評価に関する講義から始まり、次いで病害に関する総論・作物別の各論と殺菌剤、害虫に関する総論・作物別の各論と殺虫剤について学び、農薬の施用技術・航空防除に関する内容、除草剤・植物成長調整剤関係の講義という流れで進められました。講師は、法律や安全性評価については農林水産省消費・安全局の担当官および農林水産消費安全技術センター(FAMIC)農薬検査部の専門官にお願いし、病害虫関係及び施用関係については農研機構の各部門の専門家に、殺虫剤・殺菌剤は農薬会社の研究者に、除草剤・植調剤は日本植物調節剤研究協会にそれぞれご担当いただきました。

研修3日目には研修生同士の交流を深める交流会も開催しました。

全講義終了後、研修内容の習得度をはかるための修了試験を行い、合格者には協会理事長名による修了証書を授与しました。また、修了試験で優秀な成績をとられた4名の方々（小林久剛さん；(株)クレハ、藤江隼平さん；日本農薬(株)、栗本玲王奈さん；三井化学ア

グロ(株)、伊藤拓摩さん；日本植物防疫協会）には、高橋賢司植物防疫研修会運営委員長から優秀賞と記念品が授与されました。

次回の研修会は、2020年1月27日～1月31日開催を予定しています。



【植物防疫研修会の様子】



【優秀賞の受賞者と 高橋植物防疫研修会運営委員長（右端）】

お見舞いとお知らせ

台風15号と19号により東日本の各地で甚大な被害が生じました。被災された関係者に心からお見舞い申し上げます。

なお、今月下旬より各地で当協会主催の成績検討会が予定されていますが、いずれも予定どおり開催させていただきます。うち、金沢市で開催する北陸地域検討会に出席を予定されている方は、交通機関の状況にご留意下さるようお願い致します。